

2023年3月期決算概要

2024年3月期通期業績予想・配当予想

2023年4月28日

伯東株式会社

(単位:百万円)	22/3期 累計	23/3期 累計	増減(△印減)	
			差異	比率
売上高	191,495	233,624	42,129	22.0%
売上総利益	23,968	32,379	8,411	35.1%
営業利益	7,304	12,711	5,407	74.0%
経常利益	7,411	12,048	4,637	62.6%
当期純利益	4,970	8,929	3,959	79.7%
(包括利益)	7,337	9,578	2,241	30.5%
1株当たり純利益	248.48円	470.52円	222.04円	—

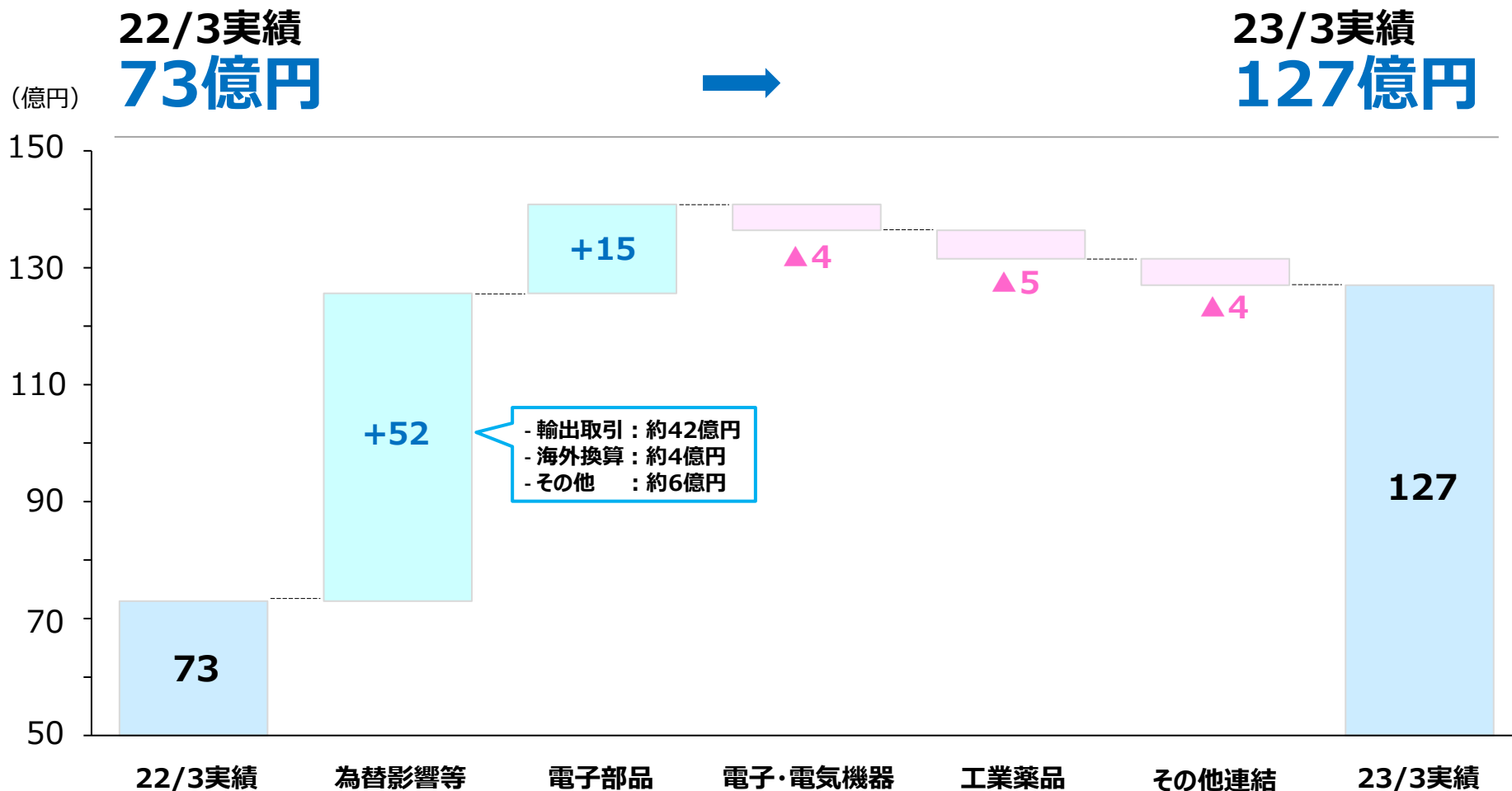
《当期業績の概要》

◇売上高: 主要3セグメントともに増収。特に、電子部品は前期に引き続き車載関連を中心に伸長

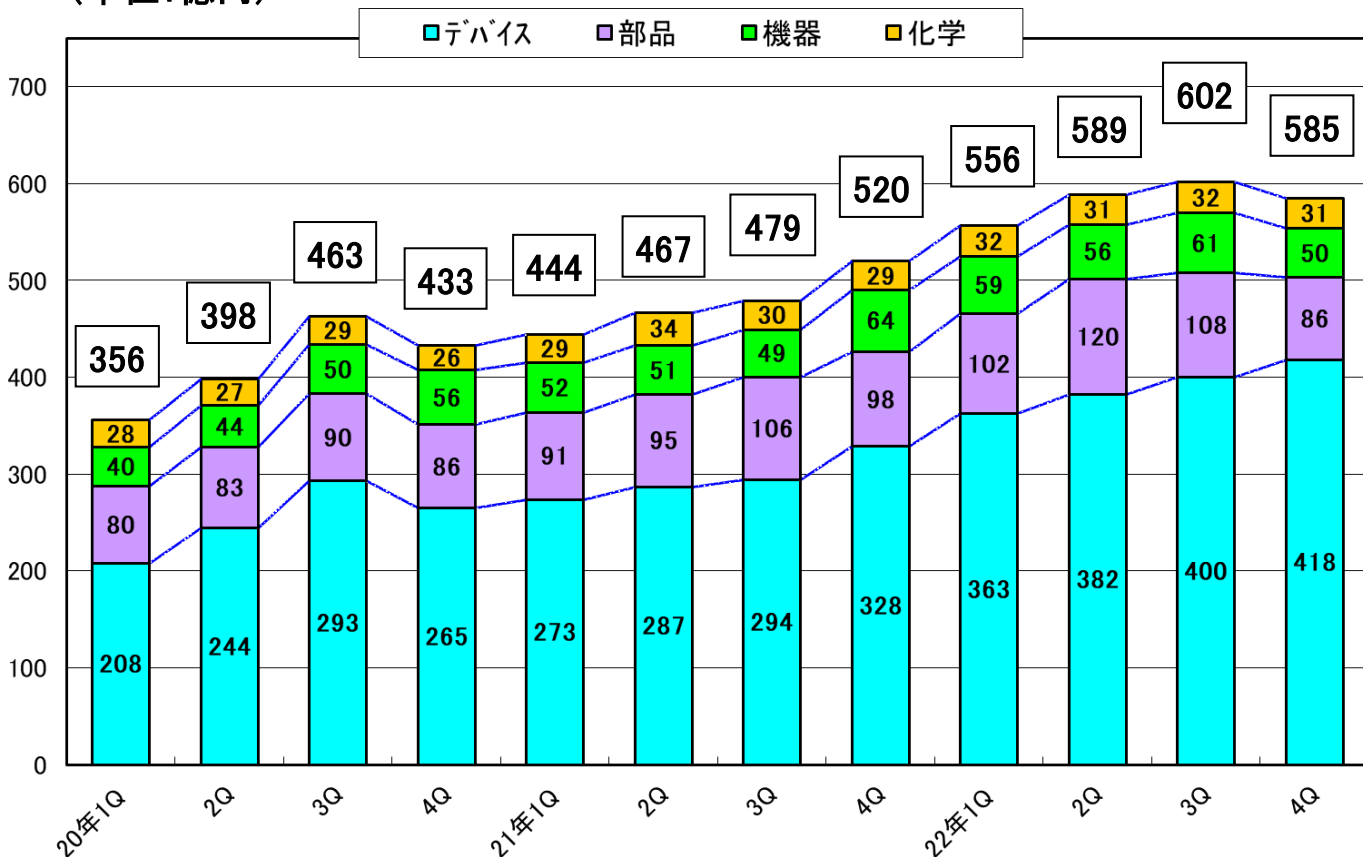
◇売上総利益: 円安進行に伴う為替影響等により利益率が上昇(22/3期 12.5% ⇒ 23/3期 13.9%)

◇営業利益以下: 売上増加と利益率改善が販管費の増加(対前期比+18.0%)を上回り、大幅増益

- 半導体需要増に伴い、車載用途ICを中心に電子部品セグメントが大幅な増益
- 急激な円安進行による利益増、主要取引先の商流変更による一時的な利益増



(単位:億円)



《分野別売上高の概要》

◇化学:石油化学プラント向け工程添加剤は減少も、化粧品基剤は伸長

◇機器:半導体設備投資需要によりPCB関連、真空機器の販売が堅調に推移

◇部品:リモートワーク、巣ごもり需要関連のPC、民生向けが減少

◇デバイス:車載用途、産業機器向け高需要と為替影響等により伸長

(単位:百万円)		22/3期	23/3期	増減
電子部品	売上高	157,119	197,818	40,699
	セグメント利益	3,682	10,462	6,780
電子・電気機器	売上高	21,609	22,717	1,108
	セグメント利益	2,104	1,665	△ 439
工業薬品	売上高	12,300	12,615	315
	セグメント利益	1,337	849	△ 488
その他	売上高	1,167	1,237	70
	セグメント利益	213	205	△ 8
合計	売上高	192,196	234,388	42,192
	セグメント利益	7,338	13,182	5,844

《セグメント情報の概要》

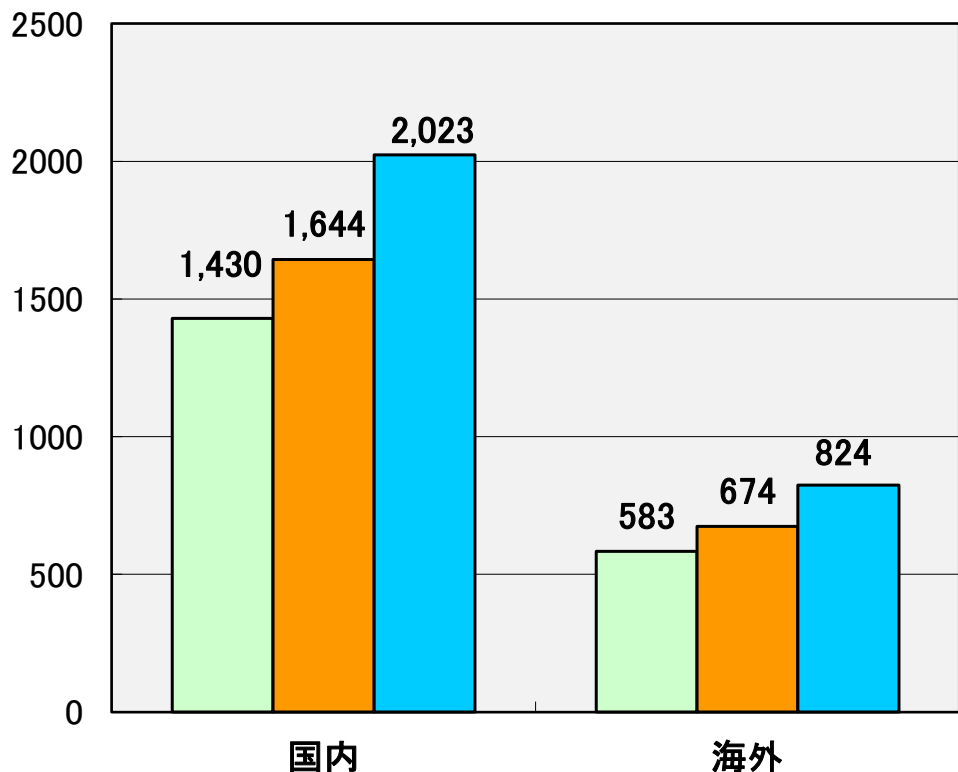
◇電子部品:車載用途及び産業機器向け販売伸長と為替影響等により増収・増益

◇電子・電気機器:半導体設備投資需要による販売増も、次世代装置の開発費用の発生等により増収・減益

◇工業薬品:化粧品基剤は伸長も、輸入原材料価格の高騰等により増収・減益

※1. 売上高はセグメント間内部取引消去前(同一セグメント内取引は相殺済)の金額

(単位:億円) 売上高(単純合算)



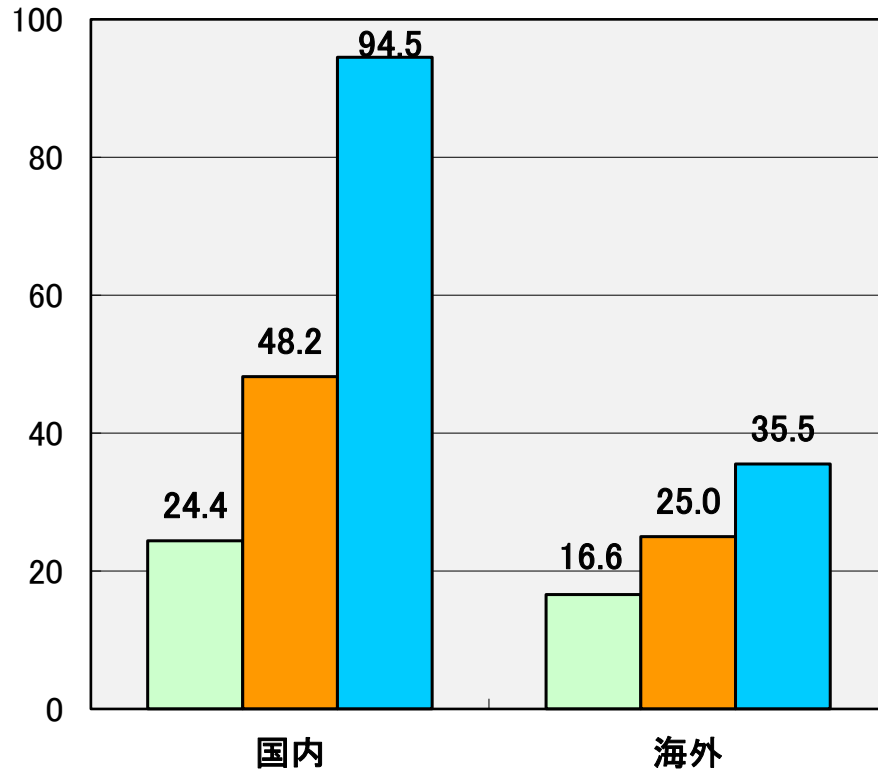
国内(伯東+連結子会社2社)

伯東、モルデック、HAL

海外(連結子会社9社):

伯東香港、上海、台湾、シンガポール、タイランド、他4社

(単位:億円) 営業利益



□ 21/3期4Q実績

■ 22/3期4Q実績

■ 23/3期4Q実績

(単位:百万円)	22/3期	23/3期	増減 (△印減)
総資産	131,490	145,900	14,410
内:現預金	18,620	16,751	△ 1,869
内:売上債権	50,099	58,853	8,754
内:たな卸資産	41,263	47,973	6,710
内:投資有価証券	9,632	9,288	△ 344
総負債	69,821	82,036	12,215
内:仕入債務	24,515	26,569	2,054
内:有利子負債	33,135	42,085	8,950
純資産	61,668	63,863	2,195
自己資本比率	46.9%	43.8%	—

《主な増減理由》

- ◇現預金:連結CF参照
- ◇売上債権:売上増に伴う増加
- ◇棚卸資産:半導体需給緩和に伴う仕入増及びBCP在庫保有等による増加
- ◇投資有価証券:保有株式の株価下落及び売却による減少
- ◇有利子負債:運転資本増に伴う借入金増加(短期+88億円、長期+2億円)
- ◇純資産:当期純利益+89億円、配当△43億円、自己株式増加△14億円、資本剰余金(自己株式消却等)△17億円

(単位:百万円)	22/3期	23/3期	増減 (△印減)
営業キャッシュ・フロー	872	△ 3,382	△ 4,254
投資キャッシュ・フロー	△ 527	△ 300	227
財務キャッシュ・フロー	△ 379	1,314	1,693
換算差額	787	499	△ 288
現金・現金同等物の 増減額	753	△ 1,868	△ 2,621

現金・現金同等物の 期末残高	18,620	16,751	△ 1,868
-------------------	--------	--------	---------

《今期の主な内訳》

◇営業CF: 税前利益+121億円、仕入債務増加+18億円、売上債権増加△79億円、棚卸資産増加△62億円、法人税等支払△34億円

◇投資CF: 投資有価証券の売却+2億円、固定資産取得△5億円

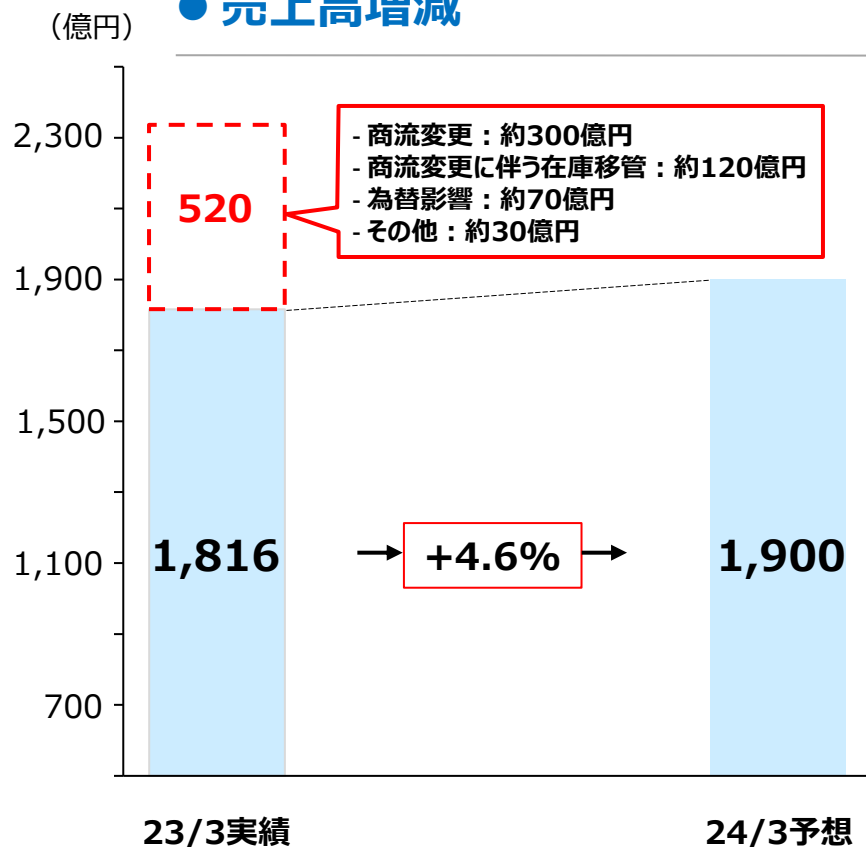
◇財務CF: 借入による収入(純額)+90億円、配当金支払△42億円、自己株式取得△33億円

(単位:百万円)	23/3期 通期	24/3期			増減		
		上期	下期	通期			
売上高	233,624	90,000	100,000	190,000	△43,624	△18.7%	
売上総利益	32,379	13,400	14,300	27,700	△4,679	△14.4%	
営業利益	12,711	3,600	4,400	8,000	△4,711	△37.1%	
経常利益	12,048	3,400	4,200	7,600	△4,448	△36.9%	
当期純利益	8,929	2,450	2,950	5,400	△3,529	△39.5%	
EPS	470.52				288.87	△181.65円	—
ROE	14.2%				8.5%	△5.7%	—

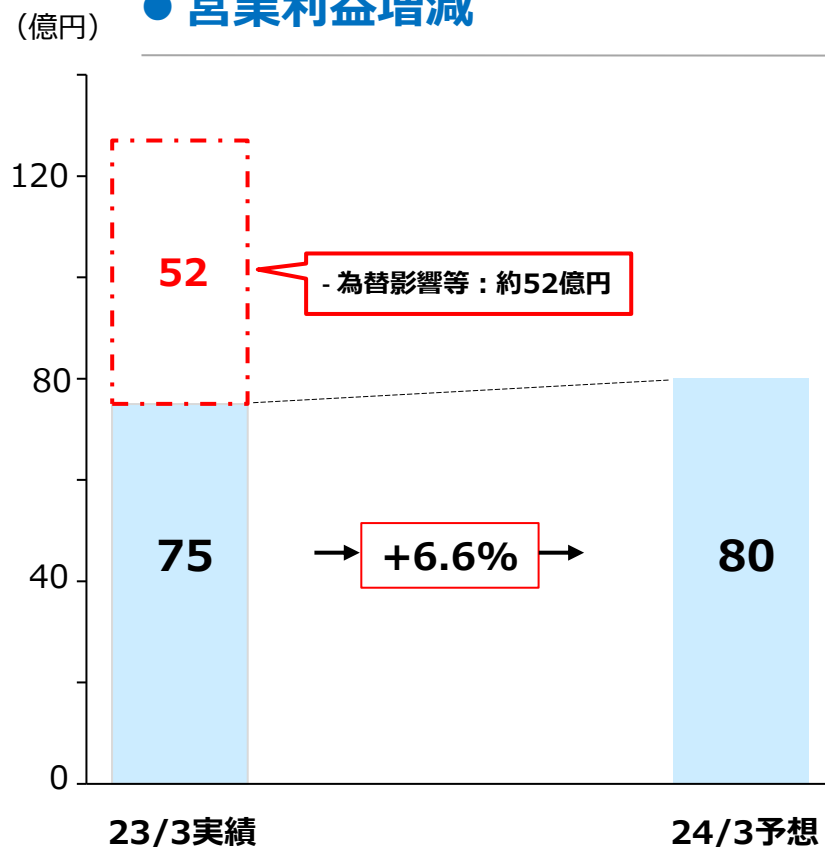
◇24/3期連結業績予想の増減要因については、次のスライドにて説明

- 大手半導体メーカー製品の商流変更による売上約300億円減少も、当初より低収益性ビジネスの為、24/3期に与える利益影響は軽微
- 為替影響等の特殊要因を除いた 23/3期営業利益:約75億円 → 24/3期予想:80億円

● 売上高増減



● 営業利益増減



基準日	1株当たり配当金						配当金 総額 (年間)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第2 四半期末		期末		年間				
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
2022年3月期	60	00	100	00	160	00	3,182	64.4	5.4
2023年3月期	120	00	160	00	280	00	5,292	59.5	8.5
2024年3月期(予想)	140	00	140	00	280	00	—	96.9	—

- ◆ 現中期経営計画期間中(2022年3月期～2025年3月期)は、配当と自己株式の取得により、総還元性向100%を目標とする株主還元を実施
- ◆ 2023年3月期: 期末配当は前回公表の1株当たり130円から30円増配の160円(通期280円) 期中実施の自己株式の取得(総額33億円)により、総還元性向は、ほぼ100%の見込み
- ◆ 2024年3月期: 1株当たり配当金(予想)を通期280円とし、前期と同水準を維持する方針

本資料にて記載されているデータ及び将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変化する可能性があります。従いまして、本資料は記載された目標・予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

< IRに関するお問合せ先 >

経営企画部 tel.03-3225-8931